

役員メッセージ

カンボジアのローカル NGO、Rights Smart International として小規模ローンサービスを開始したのが2012年2月、そこから約4年半が経ち、ついに念願のカンボジア中央銀行 (National Bank of Cambodia) から正式に金融業ライセンスを取得することができました。



私が初めてカンボジアに来たのは1992年、勤めていた会社を退職して日本の教育支援 NGO の活動に加わったことでしたが、当時のプノンペン市内には、車がわずかにしか走っておらず、そのほとんどは国連暫定統治機構 UNTAC のものか、国際 NGO のものでした。カンボジアの人たちにとって、中古の HONDA スーパーカブが高価なものであり、人力タクシーのシクロが最も使われる庶民の足でもありました。

24年経った今、プノンペンはどこもかしこも大渋滞で、車はレクサスやロールスロイスや高級ドイツ車がこれでもかというくらいにひしめいていて、バイクも新品の HONDA ドリームが車の渋滞の間隙をびっしりと埋めています。24年前から考えるとまさにドリーム、夢のように感じます。

しかしながら、一方で所得格差も広がり、近隣諸国と比べて物価が高騰してしまっているカンボジア、ことに首都プノンペンでは貧困にあえぐ人たちが少なくありません。

ライスマでは貧困から抜け出そうと頑張る、でも十分な担保がないために融資が受けられにくい、いわゆる BOP (Bottom of Pyramid) の最貧困層を対象に融資を行い自立の支援をしています。

今、カンボジア政府に認められて金融業ライセンスを取得できて、NGO の援助事業という枠から抜け出して会社法人 Rights Smart Finance Plc. へとステータスが変わりましたが、我々の活動に変わりはありません。今後も継続して最も貧しい層に対して、本当に自ら努力している人々に、必要な時、必要なだけ手助けを続けて参ります。社会的に意義があると同時に、それこそがまさに BOP ビジネスとして大きく成功する可能性もまだまだ秘めていると感じています。

今年の9月からは ANA による成田／プノンペンの直行便が毎日就航を開始しており、一気にプノンペンが近くなりました、一人でも多くの日本の方にも、急激な発展を続けるカンボジアを五感で感じていただけることも期待しています。きっと今の日本がなくなってしまうのを感じて、パワーを得ることができると思います。そしてもしライスマにご関心がおありでしたら、ぜひ弊社にもお立ち寄りいただければと思います、多くの皆様のお越しを楽しみにお待ちしております。

役員・現地代表 磯部正広

2016年10月20日